

組織改正について

1. 組織改正の内容と主旨

1) 営業センター

- ① 東京支店北関東営業支店、ならびに東京支店横浜営業支店を廃止する。
- 国内販売体制の効率化の一環として実施する。
- ② 「サンフランシスコ支店」を「サンフランシスコ・サンノゼ支店」に改称する。

— 路線就航のため。

2) 整備本部

＝ 機体計画部・部品計画部・

機体メンテナンスセンター・ラインメンテナンスセンター・機装センター・原動機センター ＝

「機体事業室」「部品事業室」を新設し、両室内に現行機能を移管する。

- ・機体計画部の機能を「機体事業室」内の「整備計画部」に移管する。
但し、施設設備チームにおける設備管理業務については、ANAエアロサブライシステム（株）に移管する。
- ・部品計画部の機能を「部品事業室」内の「部品調達部」に移管する。
- ・機体メンテナンスセンター業務推進室における総務機能を「機体事業室」内の「事業推進部」および「ドック整備部」へ移管する。
- ・機体メンテナンスセンター、ラインメンテナンスセンターの品質管理室機能を「機体事業室」内の「品質管理部」に移管する。
- ・機体メンテナンスセンターTEAMドック生産業務室における機能に、全日空整備（株）が有する伊丹地区におけるドック生産業務機能を付加し、「機体事業室」内の「TEAMドック生産業務部」に移管する。
また、設備管理機能をANAエアロサブライシステム（株）へ移管する。
- ・機体メンテナンスセンター機体整備部における機能に、現業務推進室の総務業務の一部を付加し、「機体事業室」内「ドック整備部」へ移管する。
- ・ラインメンテナンスセンター業務推進室における総務機能を「機体事業室」内の「事業推進部」へ、ステーションサポート機能を「機体事業室」内の「事業推進部」、ANAラインメンテナンステクニクス（株）およびANAエアロサブライシステム（株）へ移管する。
- ・ラインメンテナンスセンターTEAM MOC室における機能を「機体事業室」内の「TEAM MOC部」へ移管する。
- ・ラインメンテナンスセンター羽田整備部における機能を「機体事業室」内の「ライン整備部」へ移管する。
- ・ラインメンテナンスセンター福岡整備部における機能をANAラインメンテナンステクニクス（株）へ移管し、廃止する。
- ・ラインメンテナンスセンター帯広駐在・下地島駐在業務をANAラインメンテナンステクニクス（株）へ移管し、廃止する。
- ・機装センター、原動機センターの業務推進室機能を「部品事業室」内の「事業推進部」へ移管する。
- ・機装センター、原動機センターの品質管理室機能を「部品事業室」内の「品質管理部」に移管する。
- ・機装センターTEAM装備品生産業務部設備管理機能を「部品事業室」内の「TEAM装備品生産業務部」およびANAエアロサブライシステム（株）へ移管する。
- ・機装センター、原動機センターの整備部機能を「部品事業室」内の「装備品整備部」「原動機整備部」に移管する。
- ・原動機センターTEAM原動機生産業務部設備管理機能を「部品事業室」内の「TEAM原動機生産業務部」およびANAエアロサブライシステム（株）へ移管する。
- ・機装センターTEAM装備品生産業務部における機能を「部品事業室」内の「TEAM装備品生産業務部」へ移管する。
- ・原動機センターTEAM原動機生産業務部における機能を「部品事業室」内の「TEAM原動機生産業務部」へ移管する。

— 部門構造改革として、パフォーマンス(QCDF)の維持向上、意思決定の迅速化およびより効率的な運営体制を図るため。

＝ 名古屋技術駐在 ＝

新設とする。

— MRJ機導入準備実施のため新設とする。

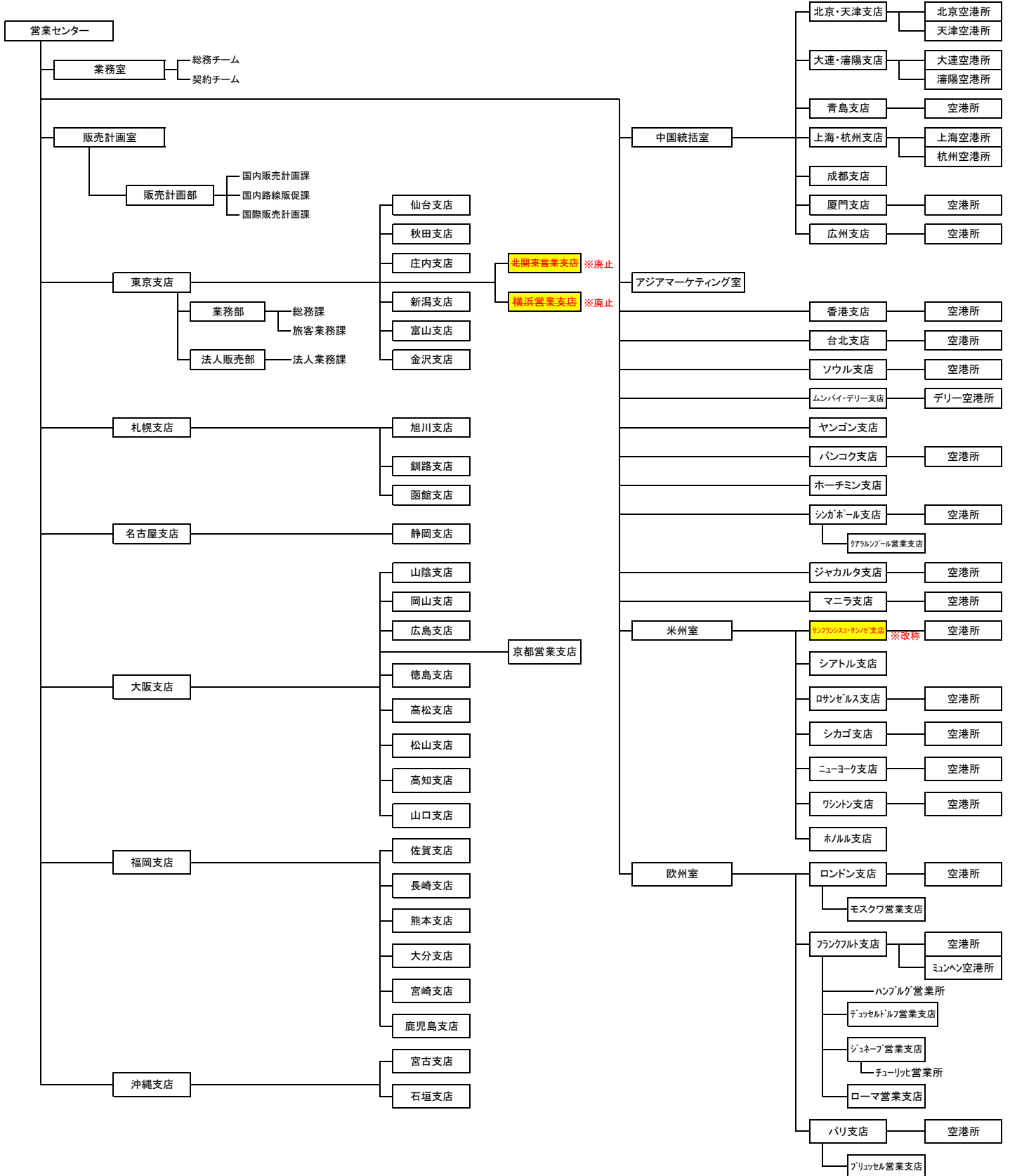
2. 発令日

2012年10月1日

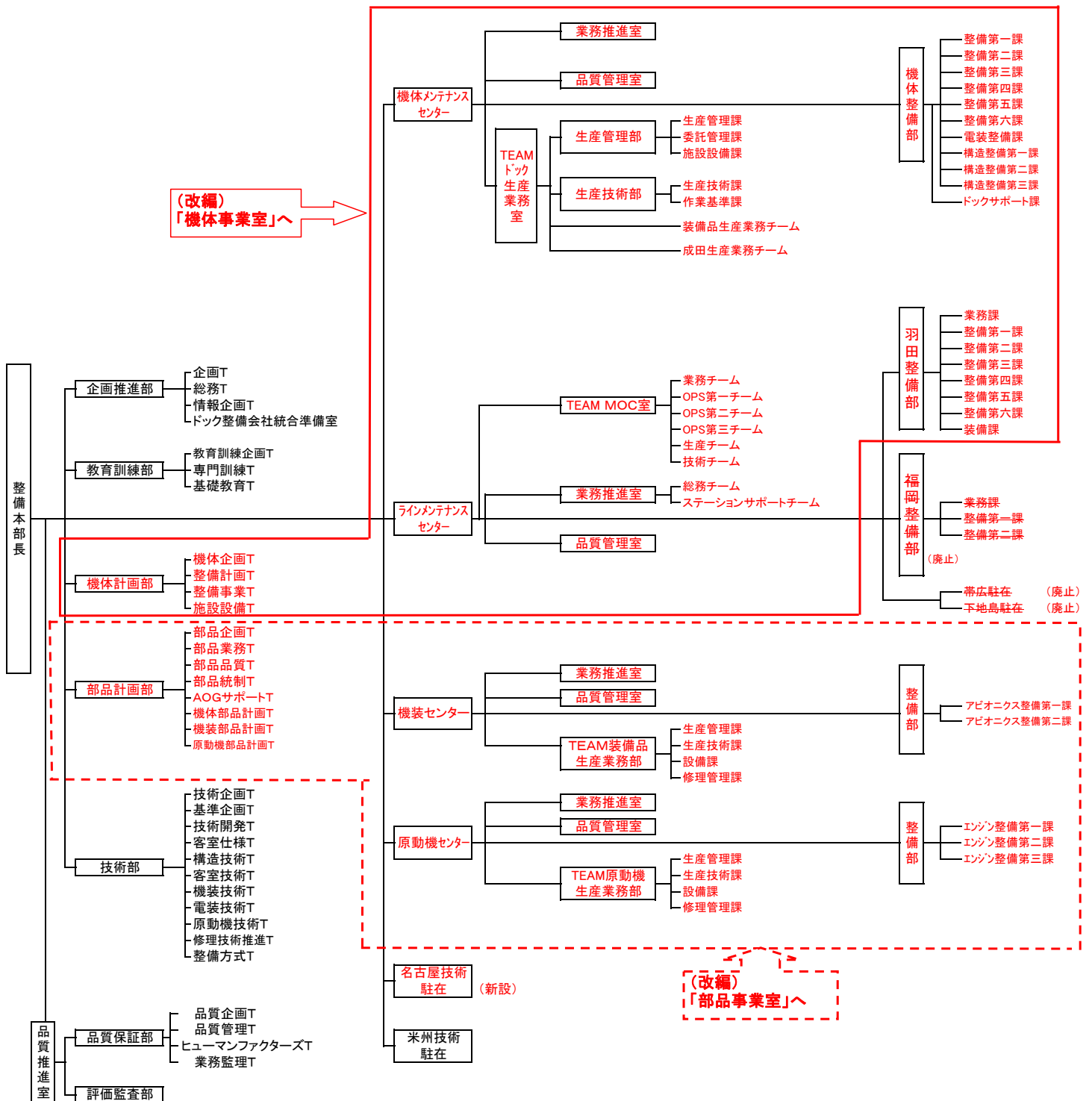
3. 組織図

別添1～3参照

営業センター



組織改正前



組織改正後

